



信越地域本部結成!

7月23日、長野ターミナル会館にて「信越地域本部結成大会」が開催されました。

冒頭、阿達準備委員長(新潟地本)から「18春闘の大敗北で多くの組合員からの信頼を失い、JR東労組の求心力は衰退、地本としての活動ができず明日が見えない事態となった。しかし、少なくとも組合員は奮闘している。そのことも含め



昨年本部大会で信越地本結成の必要性を発言し、本部で承認され、準備委員会として一年間議論を重ねてきた。新潟・長野の2つの地本を単に統合するのではなく、信越地域本部を母体に両地本を統括する形であり、新潟・長野の地本は残る。今日は新たなスタートであり、扉を開けた先に輝く明日があることを信じている。そのために強固な組織をつくり、組合員をしっかり守ることを意識して取り組む」と、これまでの経過と今後の決意について挨拶がありました。

代議員からは、前段の長野地本第40回定期大会と合わせ、安全問題や要員問題、24春闘や夏季手当に関する発言がなされたほか、再加入に関して「甘えや自分を律することがないと仲間を守れない」「自分にとってのJR東労組とは何かを確立して未加入者に訴え、組織強化していく」との決意が発言されました。

新潟・長野の仲間は二度に渡る組織混乱によって信頼を失うことの厳しさを痛感しており、これ以上過ちを繰り返してはなりません。働きやすい職場づくりや安心して生活できる賃金を実現するには、原点である「組合員の声」を集め、たたく抜ける組織力が必要です。新潟・長野の仲間の連帯をより強化する方針を確認し、信越地域本部として新たなスタートを切りました!

2024年度信越地域本部役員体制 (敬称略)

執行委員長	古畑 隼人	小海線統括センター
執行副委員長	鈴木 文美	新潟支社人事ユニット(出向)
執行副委員長	笠井 康晴	長野支社人事ユニット(出向)
執行副委員長	和田 勝也	長野統括センター
書記長	奥山 直樹	長野新幹線保線技術センター
執行委員	黒岩 和樹	JRバス関東小諸支店
執行委員	曲尾優一郎	長野統括センター
執行委員	畔上 賢一	長野支社モビリティサービスユニット
執行委員	池上 友英	JRバス関東諏訪支店
執行委員	大槻 孝一	松本統括センター
執行委員	松野 隆弘	JRバス関東伊那支店
執行委員	宮崎 俊憲	長野統括センター
会計監査員	山田 浩之	新潟支社設備ユニット
会計監査員	児玉 直樹	長野総合車両センター

新幹線協議会

第6回定期委員会

新幹線協議会は7月21日、「第6回定期委員会」を盛岡地本さくら会館にて開催しました。当日は50名を超える組合員が結集する中、浅沼議長(主権者挨拶では、架線垂下や復旧作業中の感電事故など新幹線での課題解決と組織強化をめざすことを提起し、特に女性社員用設備の改善については各新幹線職場の組合員が連携して声を上げたことで少しずつ前進していることを確認しました。

質疑では、郡山駅での滑走・オーバーランの事象に対して早めにブレーキをかける等の「人間の注意力」に依存する対策しかないことへの怒りの発言があったほか、車両の床下点検を行う場合の縄ハシゴが女性乗務員にとって危険であることが発言され、業務上でも女性組合員の働きづらさが明らかになりました。また、少人数でも組織強化・拡大を取り組んできたことや、支社エリアを跨ぐ異動の際はJR東労組役員が世話役活動を通じて不安なく働ける環境づくりを取り組み、人間関係を構築してきた実践が発言されました。



新幹線協議会として、労働組合らしく「組合員の声」をもとに議論を重ね、働きやすい職場と社会の実現に向けて取り組む方針を確認すると共に、近藤議長による新体制を確立し、定期委員会は成功に終了しました。

2024年度新幹線協議会役員体制 (敬称略)

議長	近藤 隆行	盛岡新幹線運輸区
副議長	浅沼 宏優	盛岡統括センター
副議長	橋本 直幸	新幹線総合車両センター
事務局長	佐藤 伸也	盛岡新幹線車両センター
幹事	其田 洋輔	東北新幹線信号通信技術センター 盛岡新幹線メンテナンスセンター
幹事	飯坂 竜也	一ノ関統括センター
幹事	藤村 祐輝	盛岡新幹線車両センター
幹事	小林 正宏	盛岡新幹線運輸区
幹事	佐藤 武志	秋田統括センター
幹事	小田島 恵	福島統括センター
幹事	遠藤 北斗	仙台新幹線運輸区
幹事	田代 正記	東京新幹線運輸区
幹事	谷口 寛人	東京新幹線車両センター
幹事	磯 裕二	大宮電力設備技術センター
幹事	齋藤 裕介	新潟新幹線車両センター
幹事	今村 直人	長野統括センター

青年協議会

2024ヒロシマ平和研修

8月5日〜7日、「2024ヒロシマ平和研修」を開催しました。各地から13名の仲間が参加し、8月6日の平和記念式典では、原爆が投下された8時15分に黙とうを捧げ、平和な社会をつくる決意を新たにしました。



研修では、原爆ドームや原爆の子の像など広島平和記念公園内の碑めぐりを行い、原爆がもたらした凄惨な歴史や放射能の恐ろしさ、そして自身も被爆に苦しみながら、家族を励まし助け合ってきた被爆者の方々の力強さやヒューマニズムを実感しました。また、被爆証言の会の山岡美知子さんから講演をいただき、山岡さんのお母さんの体験談をはじめとした被爆者の方々の体験談や、原子力・核の実相について学びました。

意見交換では参加者から「戦争が始まったら、大人はみんな加害者になる。軍需産業はそれだけ多くの仕事に関わっている」「台湾有事など世界情勢に危機意識がない訳ではないが、どこか遠くの地というイメージで、当事者意識がない。だから自分に引き寄せて考えられなかったのではないかと」「私たち自身も、意識しないと平和について考えないのは問題ではないか」との意見が出されました。まずは組合員が情勢や平和運動をどう感じているかを忌憚なく出し合い、議論することがスタートであること、その実践を行うのは私たち自身であることを参加者全員で確認し合いました。



サークル大会などのお知らせ

詳細はサークルNEWSをご参照ください!

【絵画部】 9/10

「二科展を鑑賞してみよう」 国立新美術館 (東京都)

【ネイチャークラブ】 第28回例会・総会 10/6~7 足尾の森 (栃木県)

【軟式野球部】 9/18~19

第29回軟式野球大会 石川スポーツグラウンドくろいそ (栃木県)

【釣り部】 第33回釣り大会 10/30~31 ①平塚港・庄三郎丸 ②フィッシングフィールド中津川(神奈川県)

【山岳部】 9/23~24

第30回登山大会 男鹿三山お山かけ (秋田県)

【ボウリング部】 第15回ボウリング大会・総会 11/27 仙台プレイボウリング (宮城県)